

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲警告

- 下地材、化粧パネルが落下してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・指定の位置に、厚さ24×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
  - ・棧木には虫くい・くされなどのない物を使用してください。
  - ・棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)
  - ・下地材は必ず指定の躯体取付けねじ(トラスタッピンねじφ4×40)を、指定の本数使用して固定してください。
  - ・下地材の躯体取付けねじは、棧木の中央に20mm以上かかるように固定してください。又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。

### ▲注意

- 必ず化粧パネルのパネルピンを、下地材のピン受け穴に落込んで固定してください。化粧パネルの落下の原因になります。
- 上部ブラケットは、横レールに外れないように引掛けてください。ガラス棚板が落ちてケガをするおそれがあります。

### ■取付け上のおお願い

- 下地材を壁面に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。下地材のねじれにより、化粧パネルが据付けられなくなります。
- 本製品のねじ取付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- かい木には合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 本製品の施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落やゆがみなどの原因となります。
- 運搬の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けてください。
- 化粧パネルにガムテープ・クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープなど粘着力の弱いものを使用してください。
- ガラス棚を据付ける場合は、後ろに化粧パネルを据付けてください。

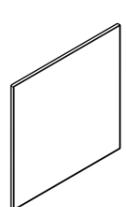
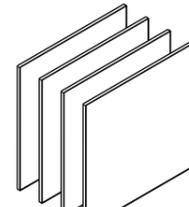
## ■部材・部品一覧表

### ■下地材セット一覧表

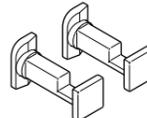
※下表の記号 ㉑～㉕は、次頁以降の各部材・部品の名称を示します。

名称	姿 図	W04	W04	W04	W04	W04	W04	W04	W04	W04	W04	W04
		下地材セット 2×1枚	下地材セット 2×2枚	下地材セット 2×3枚	下地材セット 2×4枚	縦追加下地材 1P用	縦追加下地材 2P用	縦追加下地材 3P用	縦追加下地材 4P用	縦追加下地材 1枚用	縦追加下地材 2枚用	
パネル受け 縦中央部材	㉑	—	2	4	6	—	1	2	3	1	2	
パネル受け 縦端部材(右)	㉒	2	2	2	2	1	1	1	1	—	—	
パネル受け 縦端部材(左)	㉓	2	2	2	2	1	1	1	1	—	—	
横レール下地部材	㉔	4	8	12	16	2	4	6	8	2	4	
横レール(パネル1枚用)	㉕	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
横レール(パネル2枚用)		—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
横レール(パネル3枚用)		—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—
横レール(パネル4枚用)		—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—
横レール (横追加下地用)	㉖	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	
レール端部キャップ	㉗	2	4	6	8	2	2	2	2	2	2	
部品セット (躯体固定ねじ)	トラスタッピンねじφ4×40	2	4	6	8	1	2	3	4	1	2	
取付け説明書		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	

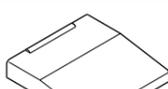
### ■化粧パネルセット一覧表

名称	化粧パネル(1枚入)	化粧パネル(4枚入)
姿 図		
入数	1	4

### ■フックセット一覧表

名称	フック(2個入)
姿 図	
入数	2

### ■ガラス棚セット一覧表

名称	上部ブラケット	上部ブラケットカバー	下部ブラケット	下部ブラケットカバー	特平ねじ4×24	緩衝シートA	緩衝シートB	ガラス棚	スペーサー
姿 図									
入数	2	2	2	2	4	2	2	1	4



## ■据付け前の準備

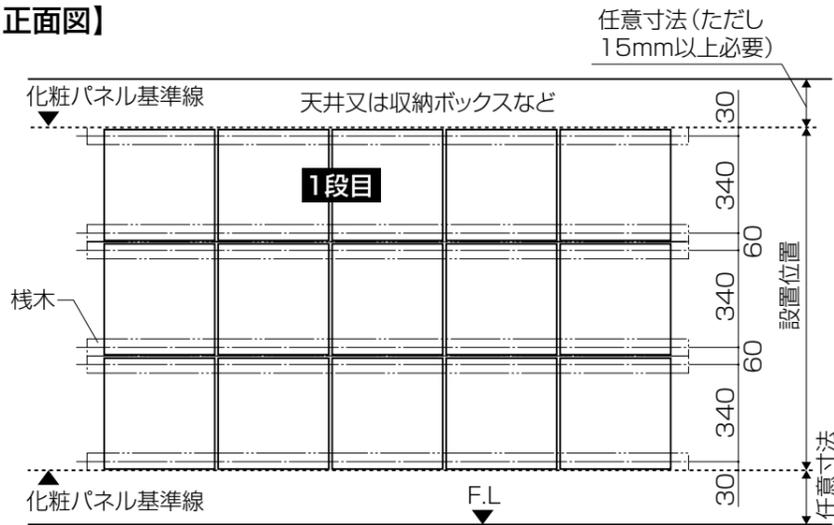
### ① 棧木の設置位置の確認 (例：3×5枚)

●化粧パネルの設置場所を確認し、下記の寸法で棧木又は合板(全面)を設置します。

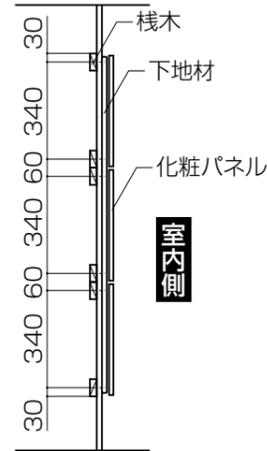
●お願い

●1段目の化粧パネルの据付け位置は、天井又はシステム収納などより最低15mmあけて設置してください。(1段目の化粧パネルが据付けられなくなります。)

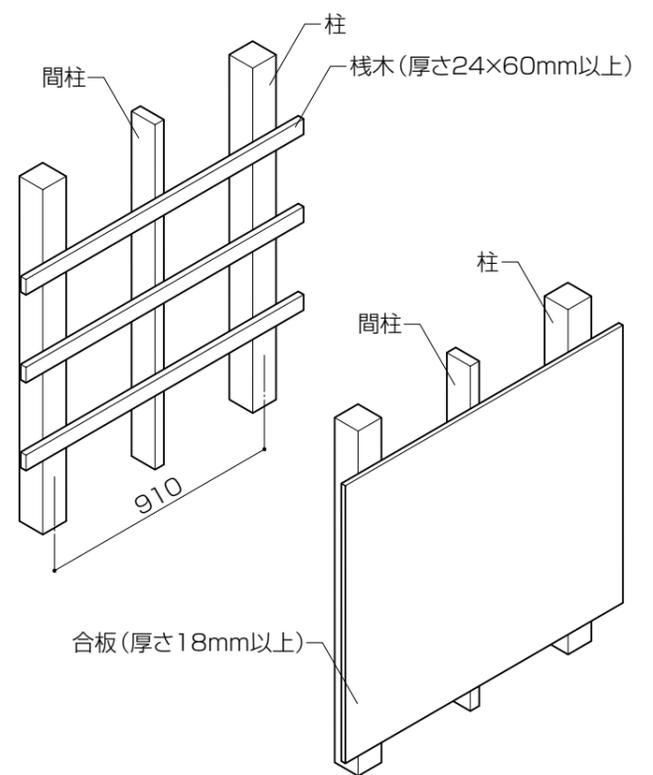
#### 【正面図】



#### 【側面図】

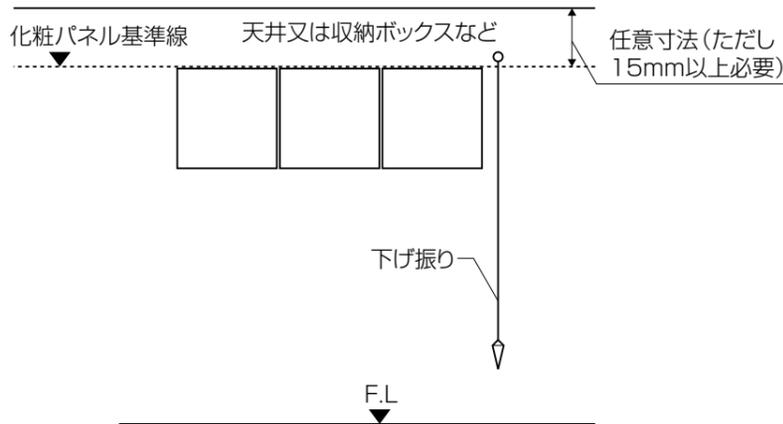


### ② 棧木の固定



## ■組立て前の準備

●化粧パネル設置の基準線を水準器、下げ振りなどで、水平・垂直を正しく出してください。



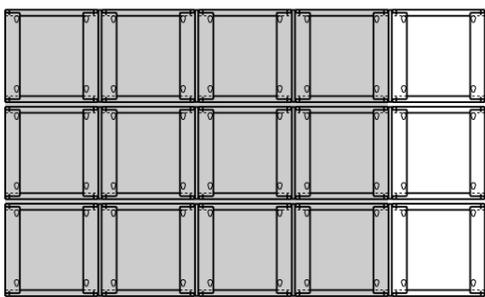
## ▲警告

- 指定の位置に、厚さ24×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には虫くい、くされなどのない物を使用してください。
- 棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
- ベタ張りの場合は厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)

## ■取付け順序

### 1 下地材セットの組立て

※  の部位の説明。

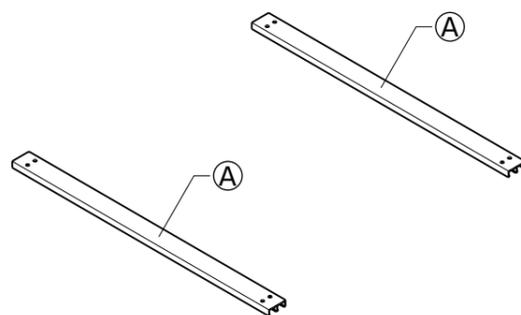


## ■取付け詳細

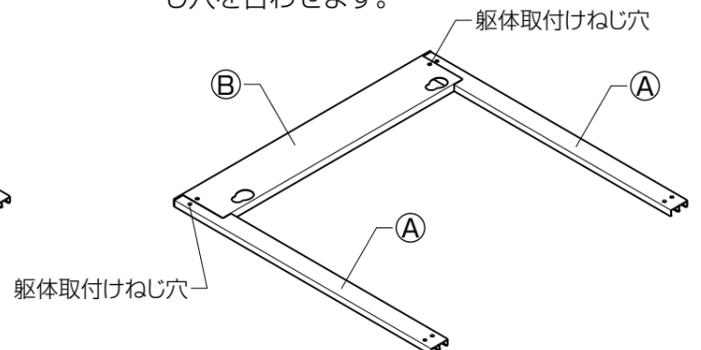
### 1 下地材セット (縦追加下地材含む) の組立て

① **A** を下図のように2列に並べます。

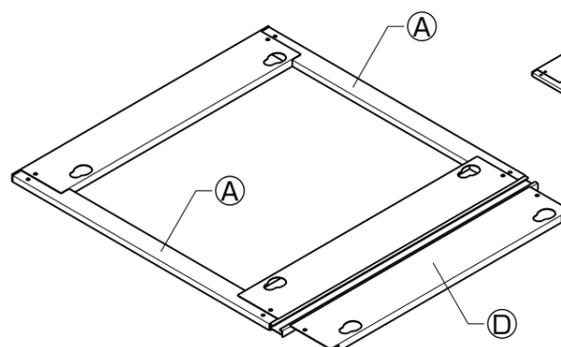
※下地材セット (縦追加下地材) を仮組みするための準備をします。



② **A** の左端に、上から **B** をかぶせます。この時、**A** の躯体取付けねじ穴と、**B** の躯体取付けねじ穴を合わせます。

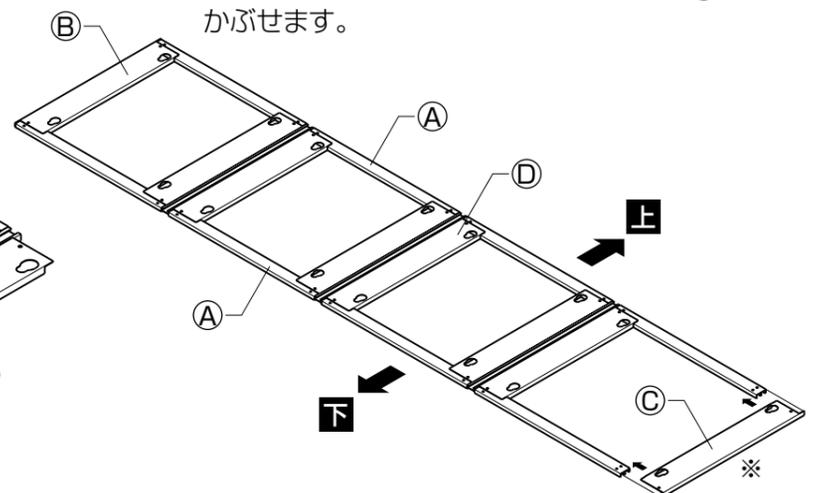


③ **A** の右端に **D** を②と同様に、躯体取付けねじ穴を合わせて上からかぶせます。



④ 横方向に必要な化粧パネル数まで①、③の作業を繰り返してつないでいきます。

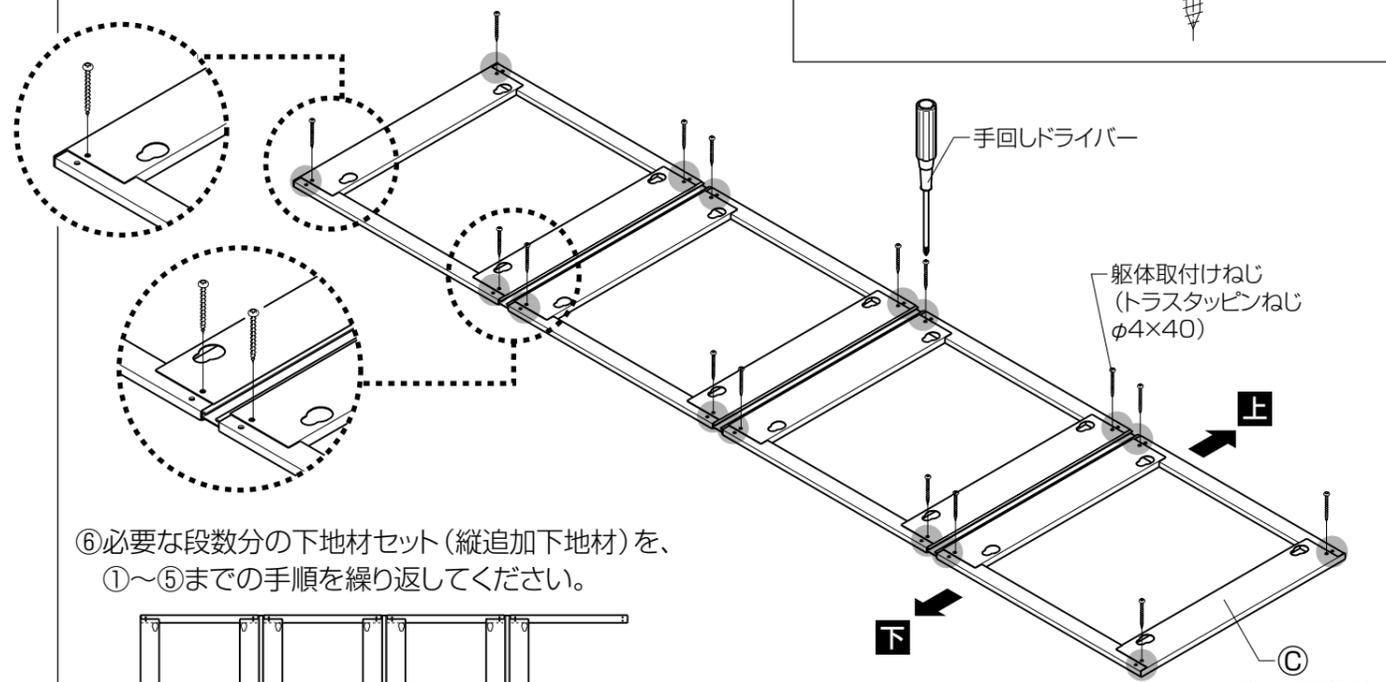
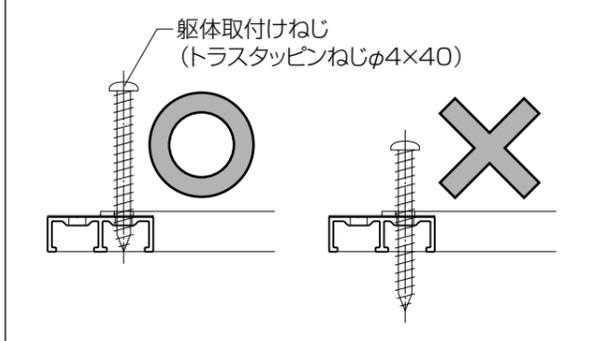
※横追加下地材を使わない場合は、最後に **C** をかぶせます。



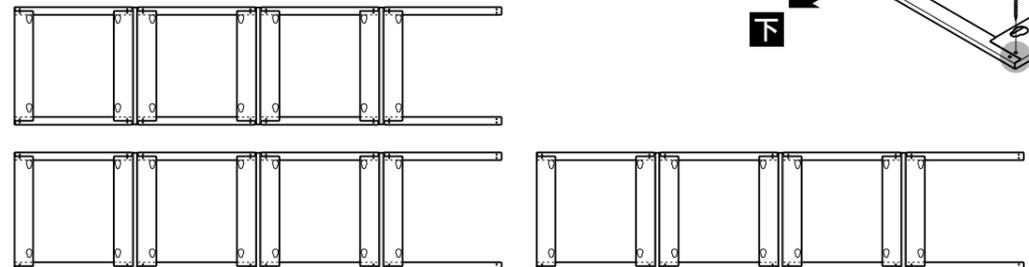
⑤ 下図の●印の躯体取付けねじ穴(4カ所/1パネル分)を仮組みします。手回しドライバーで、躯体取付けねじ(トラスタッピンねじφ4×40)で仮組みしてください。  
 ※後で躯体にねじ込みますので、先端でとどめておいてください。(取付け詳細図1参照)

お願い  
 ●ドライバーは手回しドライバーを使用してください。(電動ドリルは使用しないでください。)

■取付け詳細図1

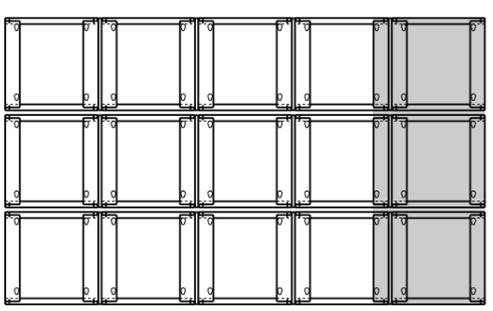


⑥ 必要な段数分の下地材セット(縦追加下地材)を、①~⑤までの手順を繰り返してください。



■横追加下地材の組立て

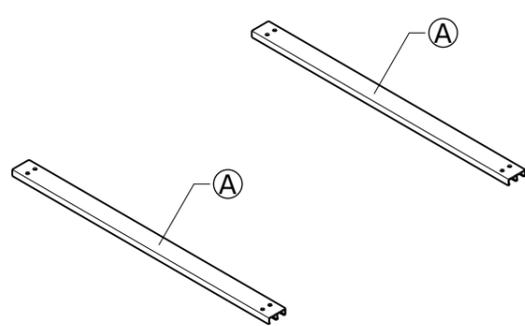
※ [shaded box] の部位の説明。



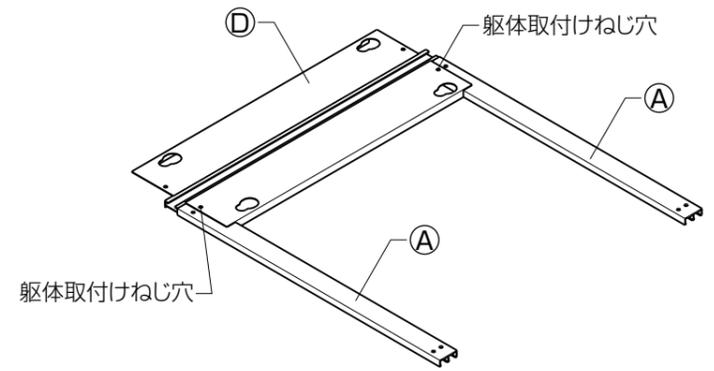
■横追加下地材の組立て(横追加下地材を使用する場合)

① (A)を下図のように2列に並べます。

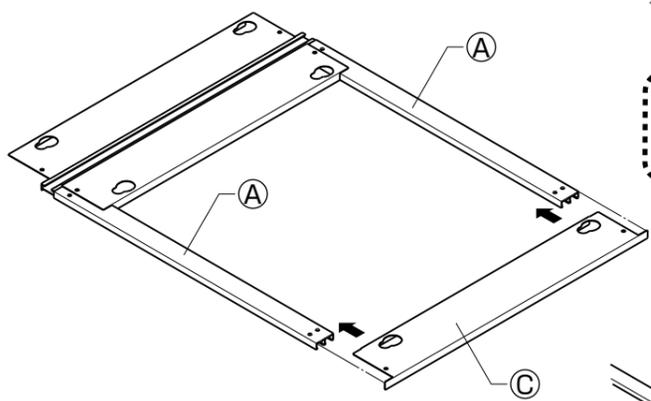
※下地材セットと同様に仮組みするための準備をします。



② (A)の左端に、上から(D)をかぶせます。この時、(A)の躯体取付けねじ穴と、(D)の躯体取付けねじ穴を合わせます。

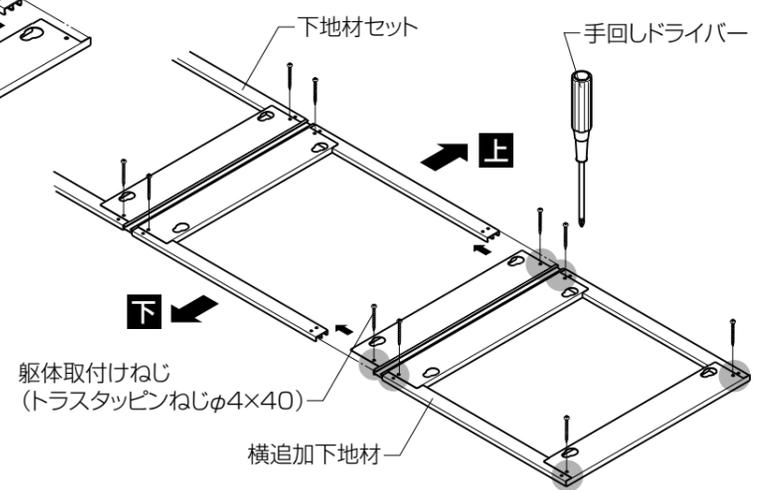


③ (A)の右端に(C)を②と同様に、躯体取付けねじ穴を合わせて上からかぶせます。



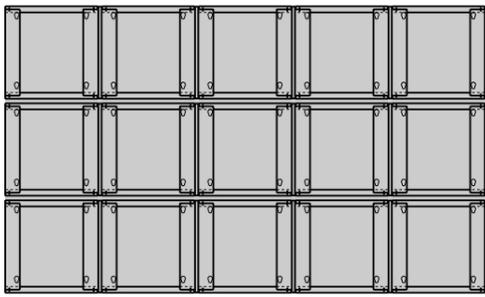
④ 下図の●印の躯体取付けねじ穴と下地材セットを仮組みします。手回しドライバーで、躯体取付けねじ(トラスタッピンねじφ4×40)で仮組みしてください。  
 ※後で躯体にねじ込みますので、先端でとどめておいてください。(取付け詳細図1参照)

お願い  
 ●ドライバーは手回しドライバーを使用してください。(電動ドリルは使用しないでください。)



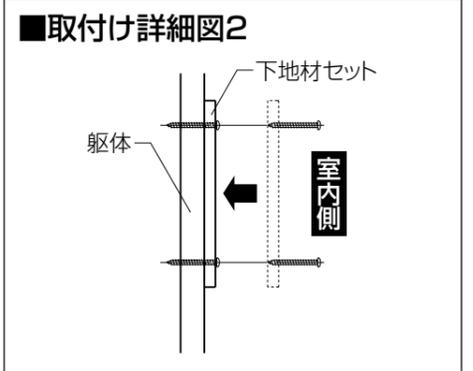
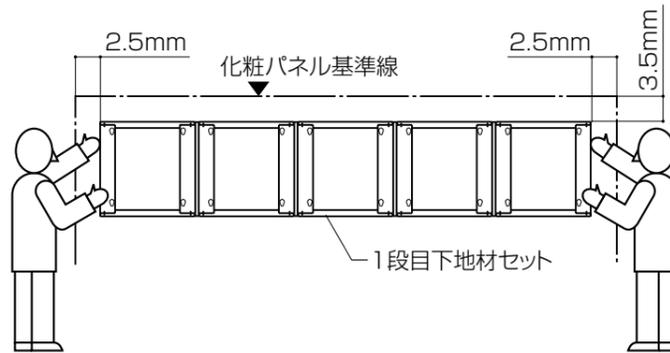
### 3 下地材セットの取付け

※  の部位の説明。

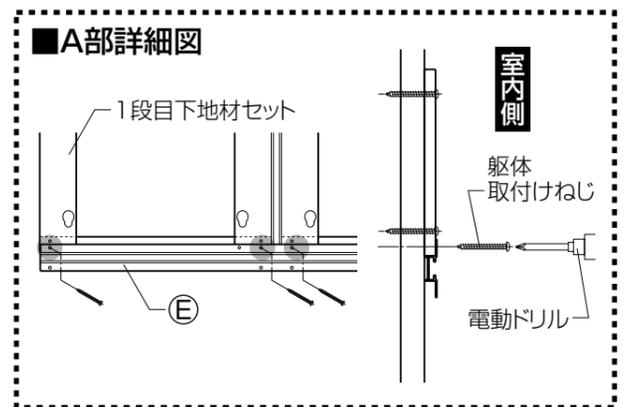
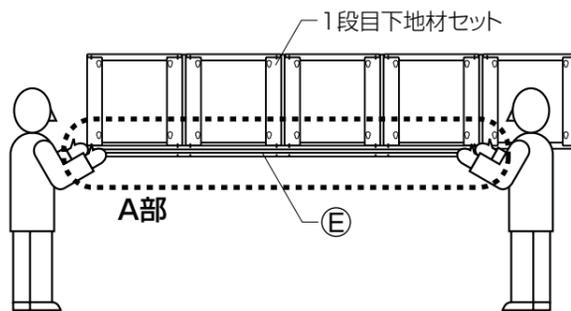


### 3 下地材セットの取付け

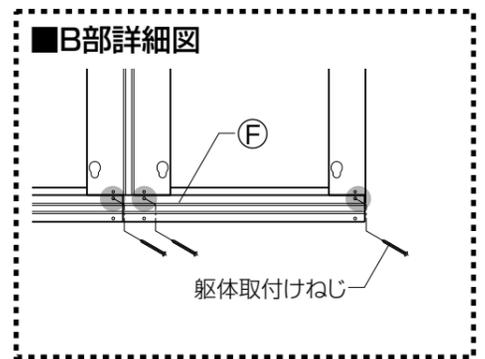
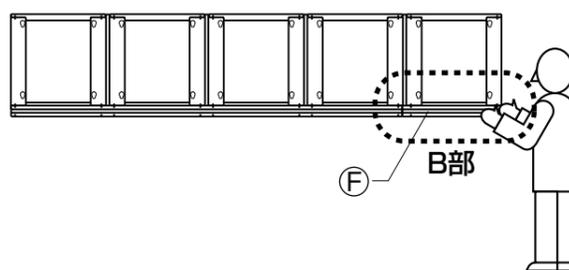
- ① 仮組した1段目の下地材セットを、壁の基準線に沿って躯体取付けねじで躯体に固定していきます。この時、下地材セットの直角、垂直がゆがまないように注意してください。  
※化粧パネルの位置と、下地材セットの基準位置は違いますのでご注意ください。(横位置:3.5mm、縦位置2.5mm)



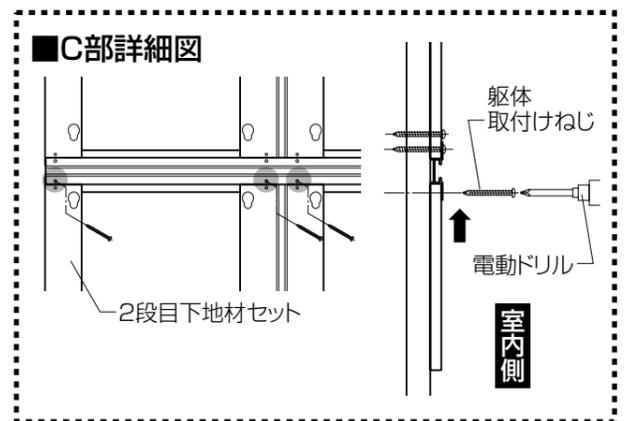
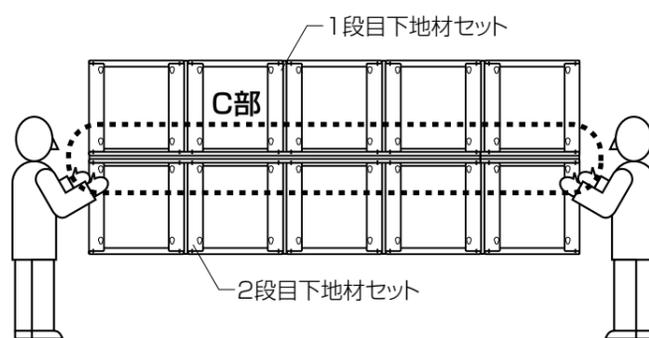
- ② 固定した1段目の下地材セットの下部に、(E)を下図の●印の躯体取付けねじ穴の個所を躯体取付けねじで固定します。



- ③ 横追加下地材を使用の場合は、先程設置した(E)の横につなげて、(F)を躯体取付けねじ穴の個所に躯体取付けねじで固定します。



- ④ (F)の固定が終わったら下部に2段目の下地材セットを躯体取付けネジ穴の個所に沿って挿入し、躯体取付けねじで固定します。次に仮組みした躯体取付けねじで、躯体に固定していきます。



- ⑤ 順次①～④の手順を繰り返し、下地材セットを必要な段数を躯体に固定します。

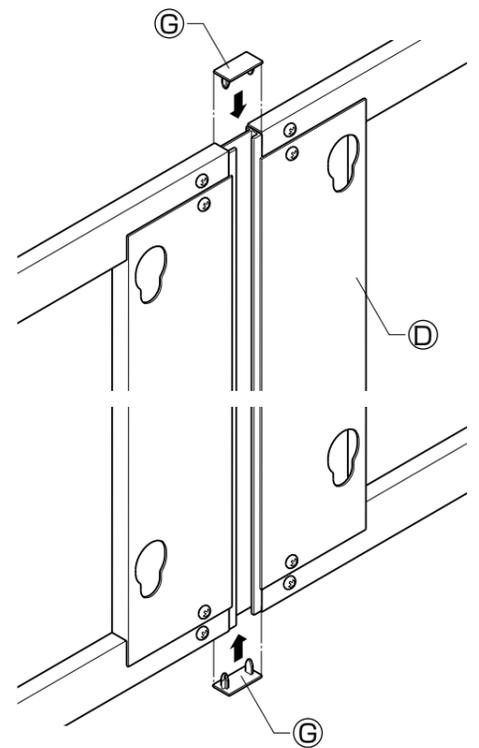
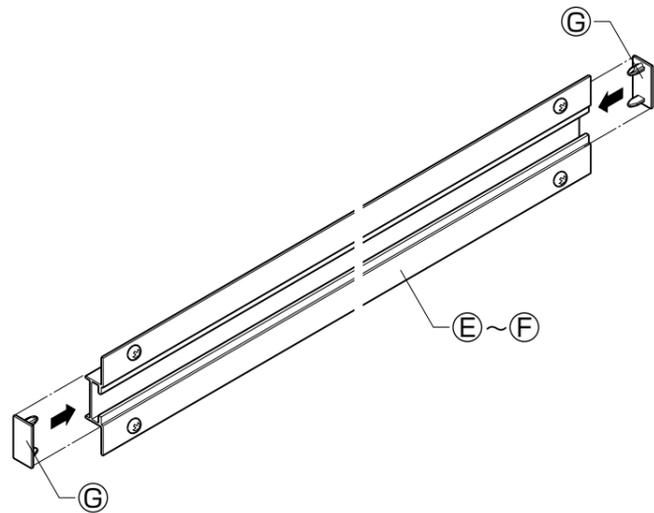
### 警告

- 下地材は必ず指定の躯体取付けねじ(トラスタッピンねじφ4×40)を、指定の本数使用して固定してください。
- 下地材の躯体取付けねじは、栈木の中央に20mm以上かかるように固定してください。又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。(ねじが固定されていないと下地材の落下につながります。)

#### 4 レール端部キャップの取付け

#### 4 レール端部キャップの取付け

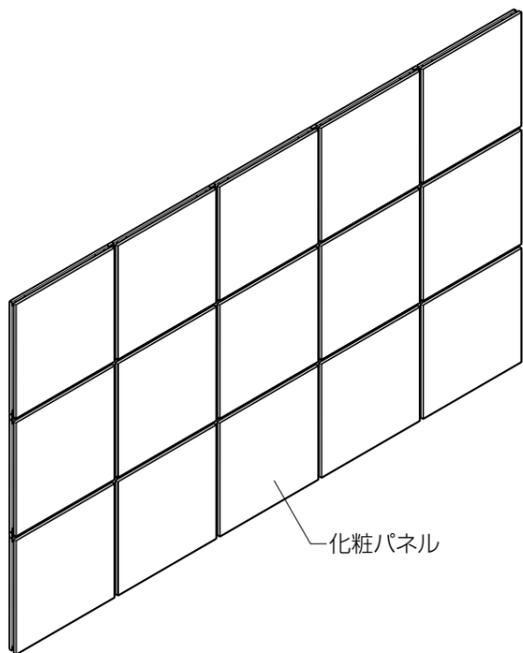
- D~Fのレールの端部にGを挿入します。この時にGのツメをレールの内部に入れるようにしてください。



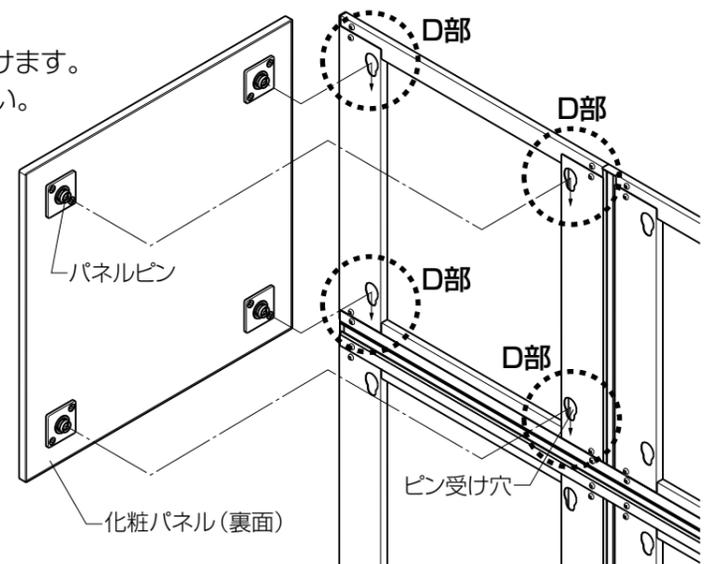
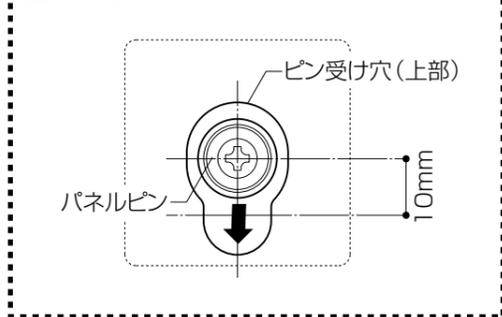
#### 5 化粧パネルの据付け

#### 5 化粧パネルの据付け

- ①下地材のピン受け穴に沿って、化粧パネルを据付けます。パネルピンをピン受け穴の上部に差込んでください。

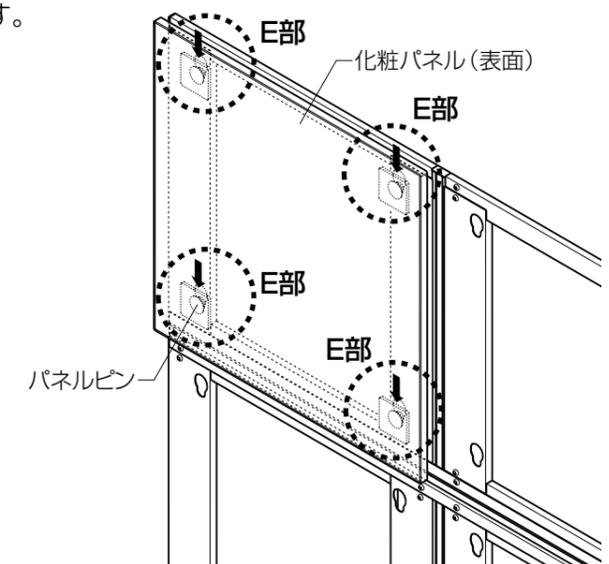
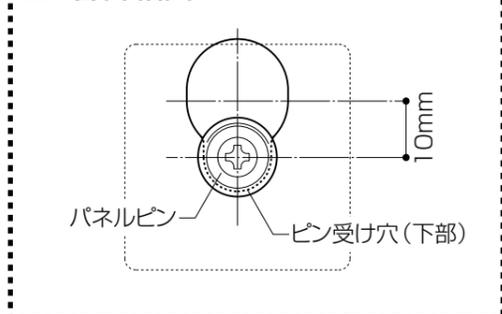


##### ■D部詳細図



- ②パネルピンをピン受け穴(下部)にスライドさせます。※この時、下部へ約10mm移動してください。

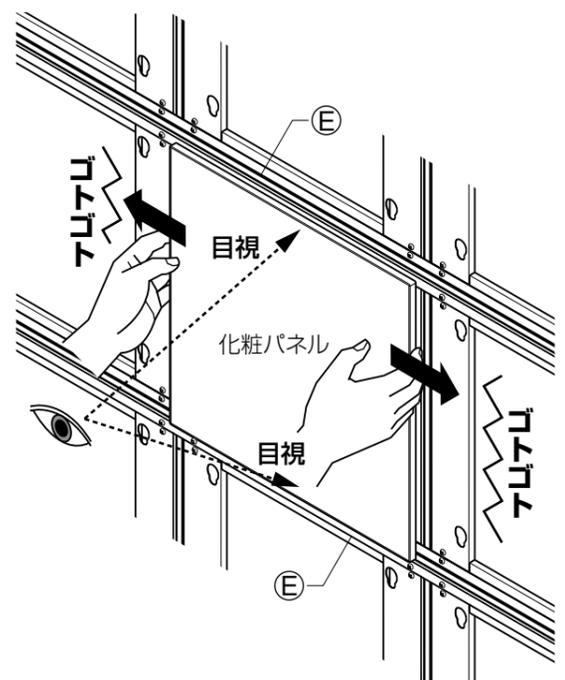
##### ■E部詳細図



- ③4つのパネルピン共、ピン受け穴に入っているか左右にパネルを振って、動かすなどして確認してください。※更に目視でEが上部、下部とも正面から見て化粧パネルと平行になっていることを確認してください。

#### ▲注意

- 必ず化粧パネルのパネルピンを、下地材のピン受け穴に落込んで固定してください。化粧パネルの落下の原因になります。



## 6 化粧パネルの据付け調整

### 6 化粧パネルの据付け調整

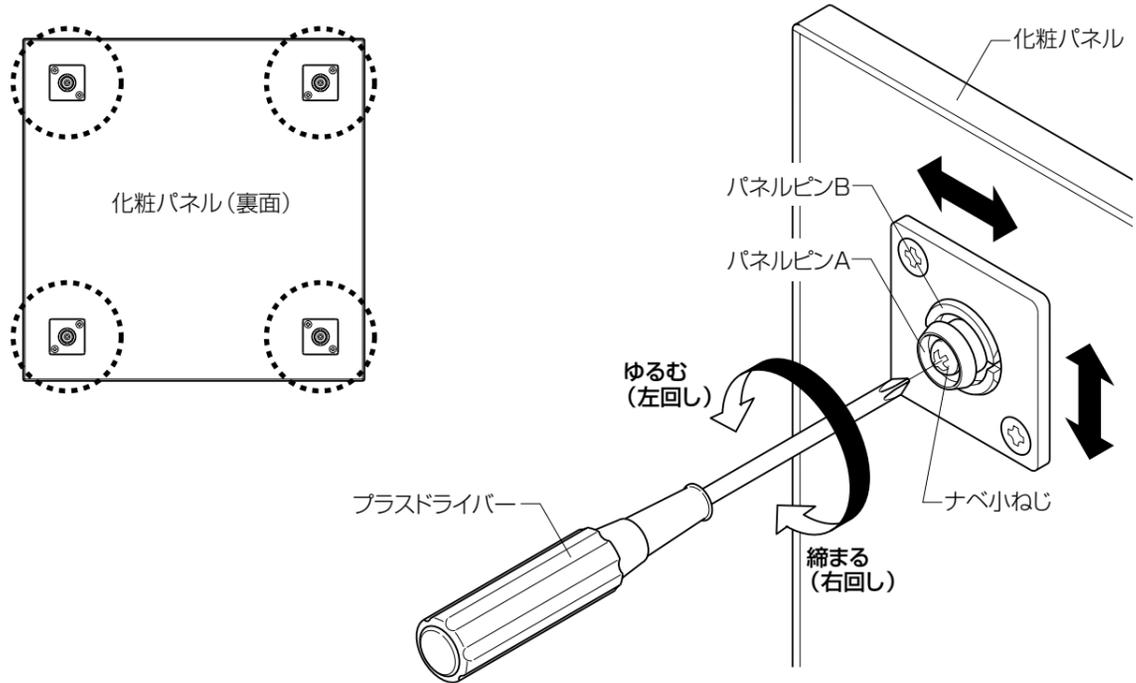
#### ■上下、左右調整〈調整幅:上下±1.5mm、左右±1.5mm〉

- 化粧パネルの裏面についているパネルピンAで上下・左右調整を行います。手回しドライバーを左回しで、ナベ小ねじをゆるめてください。ゆるめた後、移動したい位置にパネルピンAを移動させ、次にドライバーを右回しでねじを固定します。

※4つのピン共、移動させてください。

#### ●お願い

- ナベ小ねじをゆるめてから、パネルピンAを移動させてください。(ねじをゆるめないと、パネルピンAが移動できません。)
- 調整は4つのピンを移動しないと、パネルの据付けができません。
- ドライバーは手回しドライバーを使用してください。(電動ドリルは使用しないでください。)

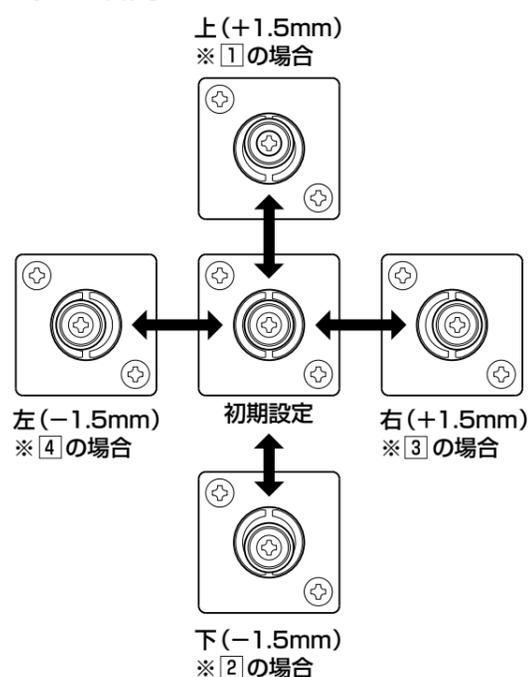


- 下図のように、化粧パネルの位置を変更したい場合に上下・左右調整を行ないます。

#### ■正面から見た姿図

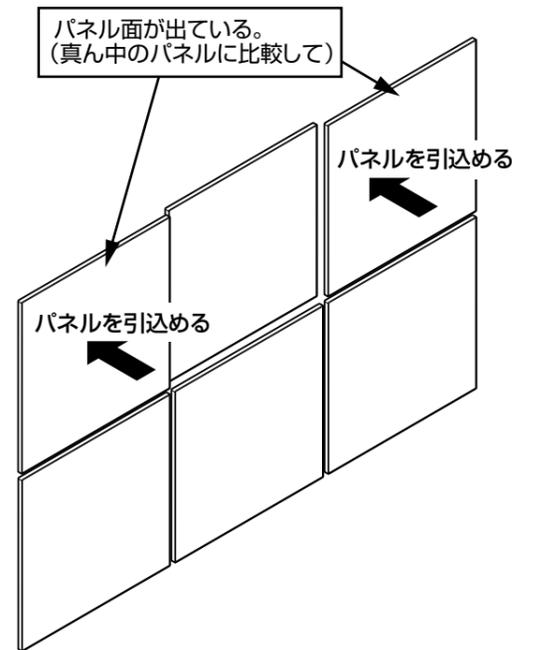
①化粧パネルが上にある場合	②化粧パネルが下にある場合	③化粧パネルが左にある場合	④化粧パネルが右にある場合
<b>【調整方法】</b> ●パネルピンを上を移動してください。	<b>【調整方法】</b> ●パネルピンを下を移動してください。	<b>【調整方法】</b> ●パネルピンを裏から見て右に移動してください。	<b>【調整方法】</b> ●パネルピンを裏から見て左に移動してください。

#### ■上下、左右調整

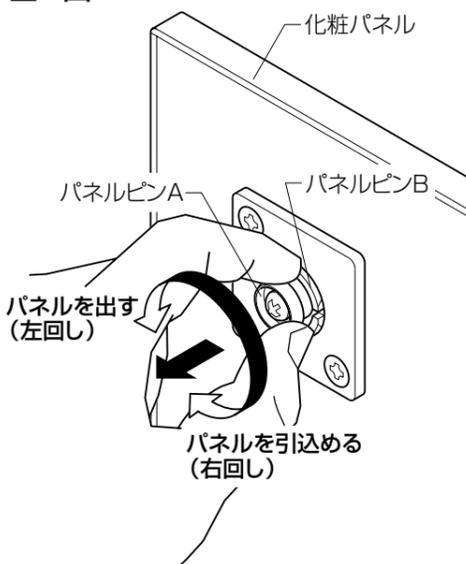


■前後調整〈調整幅:+0mm、-3mm〉

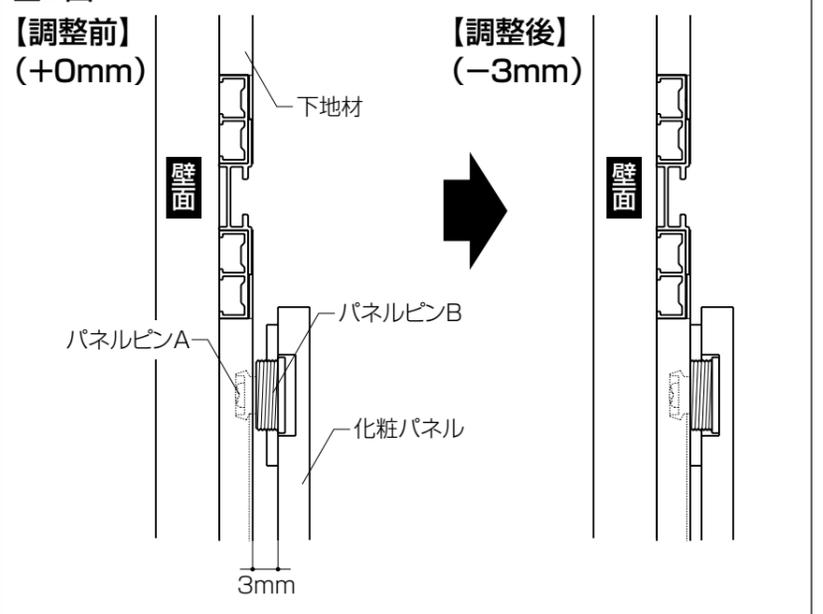
●下地材の不陸により化粧パネル面が揃わない場合、化粧パネルの裏面についているパネルピンBで前後調整を行います。初期設定は+0mmで、最大は-3mmまで調整ができます。(B図参照)  
 パネルピンAを指でつまみ、右回りに回すとパネルピンBが引込み(-)方向に動きます。戻す時は左回りで出す(+方向)に動きます。(A図参照)



■A図

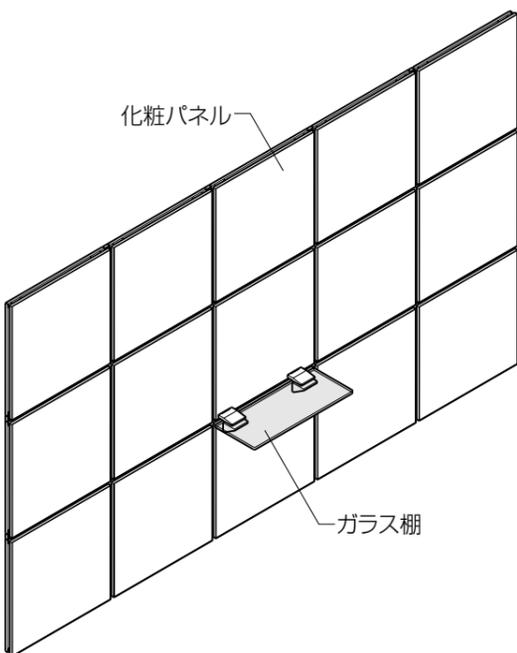


■B図



上下・左右調整と前後調整の両方行う場合のお願い  
 ●前後調整はパネルピン1回転で1mmの調整ができます。先に上下・左右調整を行なうとパネルピンが偏芯しますので、1回転単位で調整を行なってください。

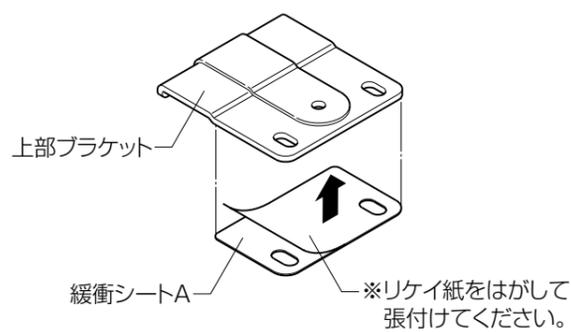
7 ガラス棚の取付け



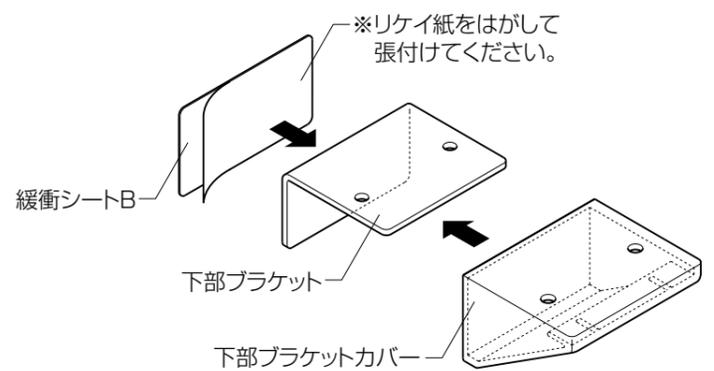
7 ガラス棚の取付け

1) 上、下部ブラケットの組立て

①上部ブラケットに緩衝シートAを張付けます。

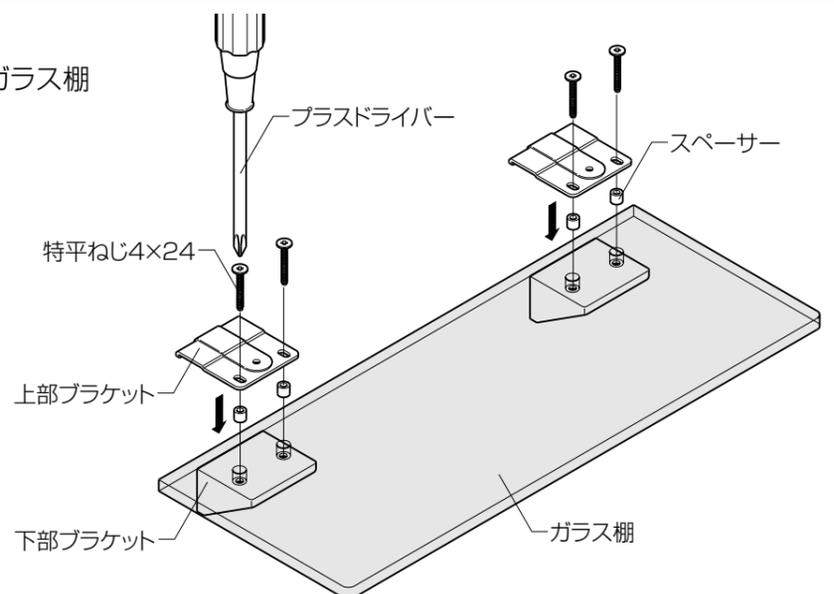


②下部ブラケットと下部ブラケットカバーを組み合わせます。



2) ガラス棚の組立て

●手回しドライバーで、下図のようにガラス棚とブラケットを組立ててください。



### 3) ガラス棚の据付け

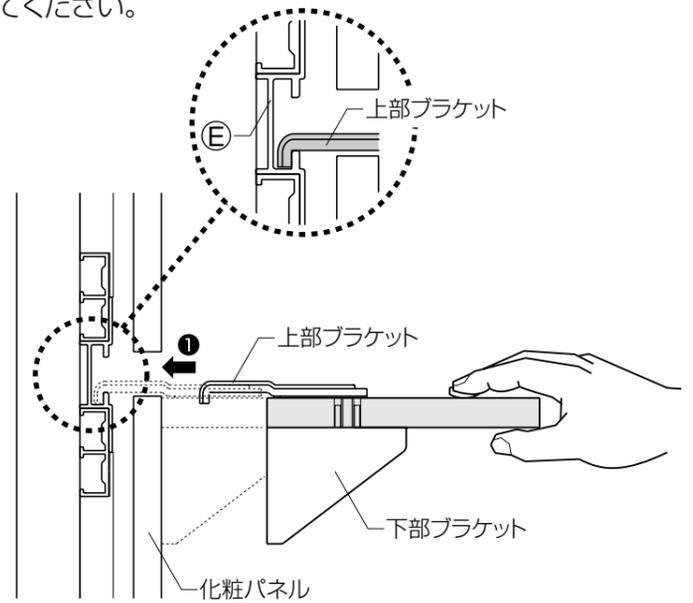
- 躯体に据付けた ⑤ に、ガラス棚の上部ブラケットを引掛けます。引掛けた後、ガラス棚が水平になっていることを確認してください。

お願い

- ガラス棚を据付ける場合は、後ろに化粧パネルを据付けてください。

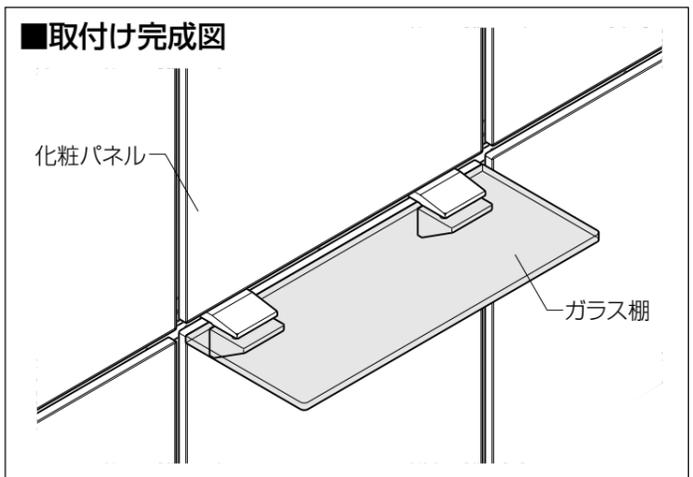
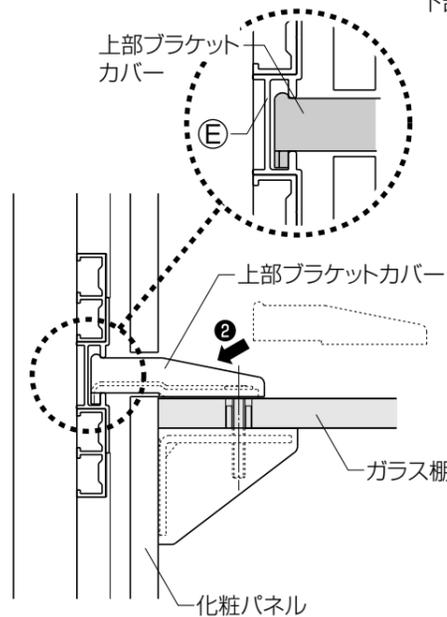
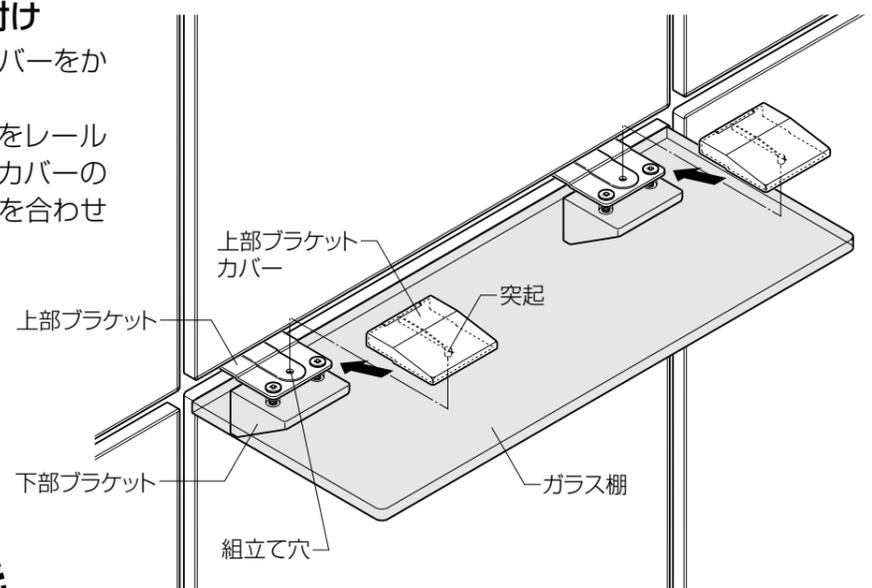
**▲ 注意**

- 必ず上部ブラケットを横レールに引掛けてください。ガラス棚が落下して、ケガをするおそれがあります。
- ガラス棚には、15kg以上の物をのせないでください。



### 4) 上部ブラケットカバーの取付け

- 上部ブラケットに上部ブラケットカバーをかぶせます。先に上部ブラケットカバーのツメをレール内部に入れてから、上部ブラケットカバーの突起と、上部ブラケットの組立て穴を合わせて圧入します。



### 8) フックの取付け

#### 8) フックの取付け

- 取付けたい位置にフックの足を ⑤ に差込み、90°回転させ取付けます。位置を変更したい場合は、その状態でスライドさせます。

